

「じゅんかい君」の位置づけは？

●じゅんかい君の運行目的は？

じゅんかい君は、公共交通の利用が不便な地区の解消と町内の公共施設や通院、買い物等への移動を確保することにより、町内交流の促進及び活性化を目的としています。（交通網形成計画 4 9 P）



また、鉄道駅や名鉄バスのバス停への乗り継ぎができるよう、じゅんかい君のバス停の場所やダイヤの設定を行い、鉄道駅や名鉄バスへのアクセス路線とすることを目的としています。（交通網形成計画 4 9 P）

そのほか、じゅんかい君の運行により次のような効果が期待されています。

- ・ 高齢者などの交通弱者の社会参加支援
- ・ 安全で環境にやさしい乗合交通手段の促進

（交通網形成計画 4 1 P）

●運行目的をどのような手段で達成しようとしているか

■公共交通の利用が不便な地区の解消

交通網形成計画では、本町の公共交通の利用が不便な地区（交通空白地域）を、次のような考え方で捉え、ルートやバス停の位置を決定し、その解消に努めています。

- ・ じゅんかい君のバス停、路線バスのバス停から半径 300m を超える区域。
- ・ 近隣市の鉄道駅から半径 1000m を超える区域

また、ルートやバス停の位置の検討に当たっては、住宅地をカバーできるように配慮しています。

※公共交通利用圏域人口カバー率 89.5%（交通網形成計画 8 P）

■町内交流の促進及び活性化

交通網形成計画において、町内の公共交通については、まちづくりと連動した公共交通ネットワークの形成を図ることとしています。

役場周辺を中心核とし、集約拠点としてのセントラル地区にバスターミナルを整備し、町内の店舗など人の集まる地区拠点や交通結節点等を結ぶネットワークの形成を図ることにより、町内交流の促進及び活性化を目指します。

（交通網形成計画 4 1 P、4 9 P）